

## 景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(平成 28 年 5 月)

### ～増税延期が決定も、現状判断DIは 43.1 と 2 か月ぶりに低下～

- 景気ウォッチャー調査・5月調査の近畿地域の結果は、現状判断[方向性]が2か月ぶりに低下、先行き判断も2か月ぶりの低下となった。
- 足元の状況については、熊本地震の影響が旅行関連を中心に続くなかで、ゴールデンウィーク中の消費者の動きが例年を下回ったとの声に加えて、連休明けの落ち込みも例年以上との声が聞かれる。トータルとしては、消費者の節約志向が徐々に強まるなかで、各業界に悪影響が広がっている。さらに、インバウンドの動きについても、百貨店の免税売上が前年割れとなっており、国内消費の落ち込みを補えなくなっている。
- 一方、月末ごろに消費税増税の再延期が伝えられたものの、5月の現状判断に対する影響はほとんどなかったようである。
- 先行きに関しても、消費税増税の再延期は大きなプラス材料にならないとの見方が一般的である。再延期の趨勢が判明したのが月末であり、今月調査の結果に十分反映されているとはいえないものの、「駆け込み需要がなくなる」との声のほか、「再延期がすぐに消費の押し上げにつながるわけではない」といった声も少なくない。
- それに加えて、これから夏に向けて、ボーナス商戦の盛り上がりを期待する声が少ないだけでなく、8月5日に開幕するリオオリンピックへの期待の声も、意外なほど少ない状況である。

#### 消費税増税の再延期」関連のコメント(先行き判断)

家計動向関連	や な る 良 く	乗用車販売店(販売担当)	・消費税増税の再延期など、プラスに作用する要素が増えると思われる。ボーナス商戦に向けての踏ん張りどころである。
	変 わ ら な い	一般小売店[事務用品](経営者)	・消費税増税の再延期で、消費マインドが向上するとは思えず、慎重な傾向は変わらない。
		百貨店(売場マネージャー)	・消費税増税が再延期となる可能性が高くなり、今年度は駆け込み需要がなくなるため、当初の見通しを下方修正しなければならない。
		百貨店(マネージャー)	・消費税増税の再延期については、株価などの景気動向にもよるが、消費者のマインドを変える要素とはなりにくい。今後しばらくは現状維持が精一杯である。
		スーパー(経営者)	・消費税増税の再延期は決まったが、先行きの景気は不透明である。冷夏であった昨年、一昨年と違って、猛暑の予報が出ていることが期待要因である。また、リオオリンピックに向けた盛り上がりについては、ブラジルの政情不安もあり、業界での機運はいつもに比べて希薄な感じがする。

家計動向関連	変わらない	スーパー（経理担当）	・ボーナスはやや伸びており、所得は減っていないと思われるが、節約志向が根強い。消費税増税の再延期も、消費へのインパクトは少ないと思われ、しばらくは消費の伸び悩み傾向が続く。
		スーパー（管理担当）	・消費税増税は再延期になりそうであるが、その一方で消費拡大の材料は乏しい。
		その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・消費税増税の再延期など、一時的には消費にプラスとなる材料もあるものの、すぐに消費の拡大に結び付くとは思えない。消費者の慎重さを強く感じる。
		観光型ホテル（経営者）	・消費税増税が再延期になる方向であり、駆け込みで買物する必要も今のところはないため、あまり変化はない。
		遊園地（経営者）	・目立ったプラス要素はなく、消費の動きからは景況感の改善がみられない。消費税増税の再延期も、結果的にマイナスに作用するリスクが大きいのではないかと。
		住宅販売会社（総務担当）	・消費税増税が再延期となる傾向であり、駆け込み受注がなくなるため、現状維持となる。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	・消費税増税の再延期で、期待していた駆け込み需要が見込めなくなっている。
家計動向関連	悪くなる	百貨店（マネージャー）	・海外経済の下振れリスクへの警戒感が強いほか、国内の個人消費は停滞気味で、実質賃金の上向き傾向も一部に限られる。非正規社員などの低所得者や、団塊世代の完全リタイアで消費意欲の減退が進むなか、モノ消費が伸びる要素は少ない。そのため、消費税率を上げようが、先送りしようが影響はあまりなく、むしろ日本の構造的な問題であり、社会保障や雇用システムの将来設計のメッセージが必要と感じる。
企業動向関連	変わらない	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・景気動向が低迷しており、個人消費も減少しているせいで、靴メーカーへの発注量が増えずに苦慮している。消費税増税の再延期についての話題が、唯一の好材料である。

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		年 14					15					16														
		月 5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
現状判断	近畿	45.9	47.9	51.4	49.3	49.4	47.0	45.4	47.6	47.8	53.3	54.6	54.9	53.1	53.3	52.4	51.4	50.5	49.9	46.8	49.2	47.1	45.9	44.0	44.1	43.1
	(全国)	45.1	47.7	51.3	47.4	47.4	44.0	41.5	45.2	45.6	50.1	52.2	53.6	53.3	51.0	51.6	49.3	47.5	48.2	46.1	48.7	46.6	44.6	45.4	43.5	43.0
先行き判断	近畿	54.1	54.5	51.9	51.9	51.5	50.0	48.2	48.6	51.6	55.5	55.5	56.1	53.7	54.2	52.6	47.3	49.9	51.4	48.7	48.5	47.9	48.0	46.5	46.7	46.6
	(全国)	53.8	53.3	51.5	50.4	48.7	46.6	44.0	46.7	50.0	53.2	53.4	54.2	54.5	53.5	51.9	48.2	49.1	49.1	48.2	48.2	49.5	48.2	46.7	45.5	47.3